

2017年9月4日

## 上士幌町 エネルギー地産地消のまちづくりに関する連携協定の締結について

9月4日、北海道ガス（所在地：札幌市、社長：大槻博、以下：北ガス）は、上士幌町における、畜産バイオマスを核とした資源循環・エネルギー地産地消のまちづくりに向けて、5者で協力・連携して取り組むことを目的とした連携協定を締結いたしました。

### 【連携協定締結5者】

- ・上士幌町（所在地：上士幌町、町長：竹中貢）
- ・上士幌町農業協同組合（所在地：上士幌町、代表理事組合長：小椋茂敏）
- ・株式会社上士幌町資源循環センター（所在地：上士幌町、代表取締役：高木聡）
- ・有限会社ドリームヒル（所在地：上士幌町、代表取締役：小椋幸男）
- ・北海道ガス株式会社（所在地：札幌市、代表取締役社長：大槻博）

### 協定概要

連携協定を結ぶ5者が連携し、畜産バイオマスを核とした資源循環・エネルギー地産地消のまちづくりの実現にあたり、相互に協力して円滑な推進を図る。

大きな取り組みとして、町内のバイオガスプラントで発電された電力の地域内供給を目指す。また、バイオガスプラントで発生した発電排熱及び余剰ガスを活用した熱利用による新たな事業展開を推進することにより、地域発展を目指す（詳細は別紙参照）。



(写真左から) ドリームヒル小椋代表取締役、北ガス大槻社長、上士幌町竹中町長、上士幌町農業協同組合小椋代表理事組合長、上士幌町資源循環センター高木代表取締役

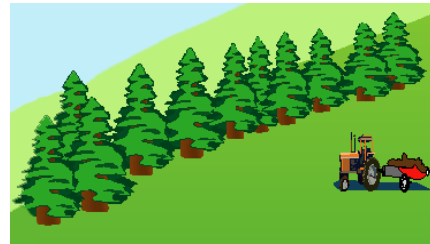
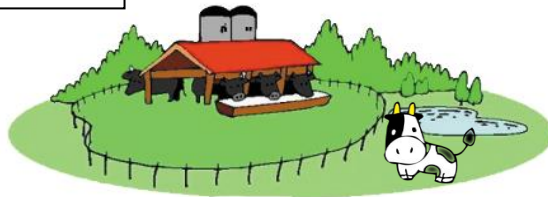
北ガスは、地域特性に合ったエネルギーを活用し、“最少のエネルギーで快適な暮らし”を実現する新たなエネルギー社会の構築に向けた取り組みを進めてまいります。

以上

# 畜産バイオマスを核とした資源循環・エネルギー地産地消のまちづくり構想

別紙

畜産業

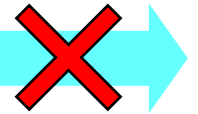


## 【畜産業での省エネ対策・EMS導入】

- 畜産業における電力の見える化
- 省エネ機器への更新(換気扇等)
- 畜産版EMSによる省エネ対策

## 【畜産系有機物のリサイクル】

- 糞尿→プラント→消化液→草→牛→糞尿→プラント→リサイクル敷料→糞尿→プラント→電気...



お金の流出  
(電気代)  
(肥料代)  
(敷料代)

電気代

電力の供給

消費電力データ等

リサイクル敷料の提供

消化液・リサイクル敷料代金

消化液の供給

原料糞尿代金

ふん尿の搬入

## 【雇用創出効果】

- 地域エネルギー会社
- 資源循環センター
- 農業施設等
- 農産物の生産
- 運送業
- 作業受委託会社
- 他

中心となる取り組み

地域エネルギー会社(検討)

連携

(株)上士幌町資源循環センター・(有)ドリームヒル

連携

上士幌町農業協同組合



- 電力の売買
- エネルギー・マネジメント
- 畜産版EMSの構築

※町主導で会社の設立・事業スキームを検討

北海道ガス(株)

■ プラントの管理・運営  
■ バイオガス発電  
■ 発電排熱・余剰ガスの供給、熱利用による農産物生産の検討

農業施設等 農産物の生産

地域農業におけるエネルギーのオンサイト利用

※農協主導で事業スキームを検討

畜産物の地産地消

電気代

電力の供給

消費電力データ等



エネルギーの地産地消

消化液の供給

消化液代金

## 【消化液の利用】

- 耕畜連携の推進
- 土づくりの推進
- 減肥・有機肥料の活用
- 散布作業による雇用創出

畜産農家へ

麦かんの供給



農産物の地産地消

新鮮・安全・顔の見える農産物の提供



お金の流出  
(化成肥料代金)

お金の流出  
(電気代)